令和2年度 学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立新居浜工業高等学校

評価・提言等

提言等に対する改善方策等

今年度の最終評価について

(1)教育目標

受身人間が多いと言われている今日、「自ら学び自ら鍛える」はとても大事な生き方と思います。素晴らしいことなので、今後もA・Bの値を少しでも上げてゆくよう頑張って欲しい。

・今後とも「ものづくり教育」と「こころの教育」を通 して、生徒に充実感や達成感を味わわせる活動を推進 し、人材の育成に力を入れていきたい。

(2)学習指導

アンケートの評価も良好であり、先生方は授業の 充実に向けて熱心に取り組んでいることが伺えました。「ほぼ4割の生徒が1日3時間以上も携帯電話・ スマートフォンを使用している」とありましたが、これらの生徒も基礎学力の向上に向けて、家庭学習時間が増加していくように、今後とも授業改善に尽力いただきたい。 ・昨年度の授業評価アンケート結果より、全ての項目に おいて上昇しているので、生徒たちは、落ち着いて授 業を受けています。来年度も引き続き頑張りたい。今 年度は1学期に臨時休校があり、計画通りに進まない 部分があったが、来年度は、基礎学力の向上に向けて、 計画的に進めたい。

(3)学校経営

保護者のメール登録率は、96%を超えており、大変 すばらしい。学校のホームページの内容も充実して おり、学校公開と情報発信の成果が上がっている。

- ・メール登録は全体で97%、2年生は100%となり、今年度12月より生徒対象のメール登録を開始しており更に加入率を伸ばし、情報発信に生かしていきたい。
- ・ホームページや PTA だよりなど、学校や生徒の活動の 様子を皆様に知ってもらえるような記事を、タイムリーに配信できるようにしていきたい。また、生徒や保護者に役立つ内容を提供できるように、図書館・保健・ PTA だよりなどの内容も工夫していきたい。

(4)工業教育

今年度はコロナ禍のため、例年のような取組ができなかったことを残念に思います。資格取得や検定合格は即戦力の人材育成だけでなく、生徒の自信や自己有用感の向上にもつながりますので、今後とも尽力いただきたい。

・コロナ禍においても、地域のみなさまのおかげで、本校の生徒にとっては、現在のところ大変恵まれた雇用環境が維持されている。また、必要な資格は就職してからという雰囲気もある。そのような中、本年度は卒業時1人当たりの資格等取得数が5.2個と当初の目標を達成できた。その反面、高度な資格を持つ生徒数が減少した。御指摘いただいたとおり、専門的な知識・技術の習得だけでなく、自信や誇りを持って生活できるよう今後さらに努力したい。

(5)教育情報環境

義務教育においても一人一台のタブレット配付と 聞いています。電子黒板の活用など昔の教育とは様 変わりしつつあります。より効果的な運用方法につ いて、本校にはリーダーシップを取っていただきた いと願っています。 ・全生徒がスマートフォンやタブレットを活用した授業ができるようICT教育推進委員会を設置し、各種取組を行っている。授業支援サービスとして、ロイロノートや Zoom を活用した授業が展開されている。今後は、GSuiteによる授業を計画し、全教員による研修を開始し、順次実践する。また、著作権の観点から「授業目的公衆送信補償金制度」の研修が急務である。

(6)特別活動

コロナ禍のため、例年のような部活動ができず、生 徒は残念に思います。アンケートの評価では生徒会 活動に対する評価が低くなっていますので、生徒自 身に活性化への対応策を出させてみても良いように 思いました。 ・コロナの影響で、各部ともに大会等も削減され、十分 な活動ができなかった。学校行事も同様で、中止や短 縮等で教員主導の活動になりがちであった。生徒会役 員も新しくなり、来年度に向けて、生徒の自主的・意 欲的な活動を促していきたい。

(7)生徒指導

生徒が不公平感を持たないよう、そして、生徒が納得できるよう、生徒への指導はチームで共通実践することが大切だと思います。校内研修等で「指導の共通理解」により一層努めていただきたい。また、その指導は難しく時間もかかると思いますが、今後とも粘り強く尽力いただきたい。

新工バックの変更やワンポイントソックスの可否 等を生徒会内に検討委員会を設け、新工生らしい分 析と検討を自らさせてみる。その上で学校と協議す る。そんな仕組みはどうでしょう。

- ・新年度の初めに、生徒指導の手引きにより校内研修を 実施しています。必要に応じてさらに研修を実施し、 指導の共通理解を深めていきます。
- ・生徒会をはじめとする生徒全体が参加して校則について検討することは、とても素晴らしいことだと思います。生徒自らが動き始めることに期待したいと思います。

(8)教育相談

アンケートの評価も良好であり、今後とも全校の 生徒が気軽に相談できる体制を充実させ、いじめな どの早期発見や適切な対応に尽力いただきたい。

健康診断 (問診) のイメージで 5 分/人×5 人/日×10 日/クラス程度で、希望者だけでなく全員に先生と 1 対 1 のひと時をもつのはどうでしょう。先生とは雑談でも相談でもかまわない。

- ・今年度3学期から既存のいじめ問題に関するアンケートを「いじめ問題等学校生活に関するアンケート」と改称し、体罰・セクハラ等の実態調査も同時に行うこととした。アンケート回収後、速やかに事情を聴きながら対応をしていきたい。
- ・各ホームルーム担任が、年度始まりに全生徒に対して面談を行っている。他校では、毎学期始まりごとに実施しているところもあるが、他の学校行事との兼ね合いから実施は難しいかもしれない。本校には、スクールライフアドバイザーが在籍しており、その活用を図ることも検討したい。

(9)人権・同和教育

アンケートの評価も良好であり、思いやりの心、自 尊感情の育成に地道に取り組んでいることが伺えま した。いじめなどの早期発見や適切な対応に、今後と も尽力いただきたい。 ・各学年で実施した研究授業を通して、各担任がそれ ぞれの視点から生徒を中心においた人権学習が展開 できています。また、生徒の人権意識の高まりが顕 著に見られ、特に人権委員の活動が活発であった。

(10) 進路指導

コロナ禍の中、就職内定率が、昨年を上回る98% との状況を拝見し、適切な相談・指導を頂いている ことと推察いたします。そうした中、昨年度と比較 し、県内・県外ともに求人数が減少しておりますが、 新型コロナの影響が長引く中、次年度の就職活動へ の懸念や課題等がありましたら、御教示ください。 また、コロナ禍の中、生徒や保護者の皆さんの就職 や進学に関する志向の変化などがございましたら、 可能な範囲で御教示いただけますか。

就職先が市内では大手(住友系)に偏っているのではないかと思います。中小企業経営者の立場から、インターンシップ等もっと密なコミュニケーションが必要かとは思いますが、地元中小企業への就職数をもっと増やせないかと思います。

(コロナ禍において、制限の多い中、全体的に良いのではないかと思います。詳細は別として、貴校の教育方針にのっとりしっかり進めているものと思います。)

- ・来年度の求人数の減少やオンラインによる企業説明 会や就職試験の増加など、今までとは違った形式の就 職活動になるのではないかと心配しています。
- ・現1・2年生の生徒に進路希望の調査をしたところ、 就職・進学のそれぞれの希望の割合は例年とほとんど 変わっていません。保護者の方の意見は、その調査に 記載するところがないのではっきりしたことは分か りません。
- ・生徒・保護者には、各企業の情報を平等にお伝えして おり、インターンシップについても将来のことを考 えて決めるように指導しています。また、市などが主 催する合同企業説明会などにも積極的に参加するよ う促しています。その中で最終的には御家庭で相談し た上で進路希望先を決定していきます。

(11)学校安全

自己評価がDとなっていますが、次年度の改善方 策に具体性が不足しているように思えます。改善す べきことを明らかにして、5W2Hの具体性を持た せた対策を考える必要があるように思います。

防災訓練に関し、近隣の地域や施設との連携も考えることも必要ではないか。避難場所となっていることも鑑みる。

- ・委員会活動を中心に校舎、庭園、施設等の清掃や定期 的に点検を行って修繕に努め、校内の美化向上に努め ていきたい。
- ・今年度は、新型コロナの影響で必要最小の訓練にとど まった。また、近隣住民と兼ね合いは難しいかもしれ ないので、防災に関する講演を行うなど防災訓練を充 実させていきたい。

(12)学校保健

内容の濃い「保健だより」を定期的に発行しており、生徒の健康意識の高揚に貢献できているように思います。コロナ禍の中、学校内、家庭内に細心の注意を払われ大変だと思います。ワクチン接種の事もあり、まだまだ御苦労は続きますが宜しくお願いします。

・新型コロナウイルス感染症等含めて、今後も継続的に 情報発信しながら、健康に対する意識を高めていきた い。

(13)学校行政事務

今後とも限られた予算の中で創意工夫を凝らし、 効率的な施設設備の整備改善等に尽力いただきた い。 ・今後も予算の有効な活用をするとともに、新型コロナウイルス感染症対策のなされた教育環境づくりをいたしたい。

(14)業務改善

割愛する作業と続ける作業、強める内容と弱める 内容等、仕事の精選や優先順位が必要になると思い ます。また、特定の校務分掌や担当者に負担がかか らないように、人員の配置にも工夫や配慮がいるよ うに思います。小さな改善であっても必ず組織の活 性化につながると思います。 ・校務支援システムの活用を推進し、更に出退勤時間管理に努め、教務・校務分掌等の簡略化を目指していきたい。

(15)その他

新居浜市や西条市の中学校校長会等との接点、交 流会などはどんな形でなされていますか。 ・新居浜市内の中学校と高校で、年1回の情報交換会を 実施しています。西条市内は実施していません。